



文部科学省認定
職業実践力育成プログラム

2019 年度

緩和ケアを推進する看護師養成プログラム

- A. 緩和ケア実践看護師養成コース
- B. 在宅緩和ケア推進看護師養成コース

受講者募集要項



京都府公立大学法人
京都府立医科大学
看護実践キャリア開発センター



はじめに

緩和ケアは、がん患者とその家族が可能な限り質の高い生活を送れるよう、診断、治療、療養のあらゆる過程において提供する必要があります。がんと診断された時から患者とその家族が、全人的な緩和ケアを受けられるよう、緩和ケアの提供体制の充実が求められています。しかし、緩和ケアに関する教育は、十分に確立されておらず、また、がんと診断されたときからの緩和ケアは、未だがん医療に浸透されていない状況です。

『京都府がん対策推進計画』（平成 25 年 3 月）の施策には、がん医療体制の整備・充実として、緩和ケアの推進、在宅医療の充実等が掲げられています。がん医療に携わる看護師の教育や緩和ケアチームなどの機能強化等により、緩和ケアの提供体制をより充実させ、がんと診断された時から患者とその家族が、早期から緩和ケアを受けられるよう調整することが求められています。また、がん患者が住み慣れた家庭や地域での療養や生活が選択できるよう、在宅緩和ケアを含めた在宅医療・看護を提供していくための体制の充実を図る必要性があります。

そこで、京都府立医科大学看護実践キャリア開発センターでは、緩和ケアへの理解を高め、実践能力を強化することをねらいに 3 つの看護師養成プログラム（A. 緩和ケア実践看護師養成コース、B. 在宅緩和ケア推進看護師養成コース、C. 緩和ケアチームリーダー看護師養成コース）を開講しています。

また、A.B コースは、「職業実践力育成プログラム」（BP）として、文部科学省に認定を受けています。B コースは教育訓練給付金制度（専門実践教育訓練）の指定対象講座です。

目次

I. 緩和ケアを推進する看護師養成プログラムの概要	
1. 目的	1
2. ねらい	1
3. 期待される能力	1
4. 教育目標	1
5. 教育内容	2
II. 募集要項	
1. 受講期間	4
2. 対象・受講要件・募集人数	4
3. 出願手続	4
4. 出願書類の取り寄せ	5
5. 出願に関する留意事項	5
III. 受講可否の通知	
1. 受講可否の決定について	5
IV. 受講手続き	
1. 受講手続	6
2. 受講料	6
3. その他	6

I. 緩和ケアを推進する看護師養成プログラムの概要

1. 目的

がんと診断された時から、患者の療養場所に関わらず、質の高い緩和ケアが実践できかつ緩和ケアの教育を行う看護師を育成し、がん治療における緩和ケアの充実、終末期医療における緩和ケアの充実を行うことにより、各地域で暮らすがん患者・家族の QOL(Quality of Life)・QOD(Quality of Death)の向上を図ります。

2. ねらい

「A. 緩和ケア実践看護師養成コース」「B. 在宅緩和ケア推進看護師養成コース」は、がんと診断された時から、質の高い緩和ケアを提供できるように、がんの診断を受け心理的にも身体的にも苦痛を持っている可能性が高い人に対する基本的な緩和ケアを担い実践する、心身の苦痛をもつ患者の個別のニーズを把握し、専門的緩和ケアへとつないでいくことのできる人材の育成を目標としています。基本的緩和ケアを担う看護師に求められる役割を理解し、患者の意思決定の支援・苦痛緩和・専門家への橋渡し・連携を中心に実践能力を向上させます。

3. 期待される能力

「A. 緩和ケア実践看護師養成コース」「B. 在宅緩和ケア推進看護師養成コース」

- 1) がん患者の特徴的な意思決定場面および意思決定に関わる要因を理解し、がん患者・家族の意思決定を支援するとともに意思決定を尊重した看護が実践できる。
- 2) がん患者の全人的苦痛・包括的アセスメントの考え方を理解し、症状マネジメントの実践ができる。
- 3) 緩和ケアの専門家への橋渡し・連携のためのネットワーク構築の必要性を理解し、他職種と協働し、チームの一員として役割を果たすことができる。
- 4) 豊かな倫理的感性をもち、緩和ケアの実践を通して役割モデルを示し、看護職者への指導・相談ができる。

4. 教育目標

「A. 緩和ケア実践看護師養成コース」「B. 在宅緩和ケア推進看護師養成コース」

- 1) がん治療に伴う副作用・合併症、苦痛に対する適切なアセスメントと症状コントロールを理解する。
- 2) がん告知や治療経過で体験する患者・家族の心理を理解する。
- 3) 緩和医療・終末期医療におけるケアの実践の理論を学び、実践する。
- 4) 医療における倫理的課題について学び、倫理的態度をもって援助する。
- 5) 緩和ケア病棟・外来化学療法センターでのケアの実際を理解し、必要な技術を学び実践する。
- 6) 在宅における緩和ケア・終末期のケアの実際を理解し、必要な技術を学び実践する。
- 7) 緩和ケアチームの活動の実際を理解し、緩和ケアにおけるチーム医療について学ぶ。
- 8) 自施設の緩和ケアに関する課題の改善に向けた取り組みを行い、その取り組みをまとめ他者と共有する。

5. 教育内容

「A. 緩和ケア実践看護師養成コース」

区分		必須		選択		合計	
		単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数
講義	看護倫理	1	16	—	—	1	16
	緩和ケア	1	16	—	—	1	16
	がん療法看護	1	15	—	—	1	15
	腫瘍病態生理学各論	—	—	2	30	2	30
	臨床薬理作用論	—	—	2	30	2	30
	計	3	47	4	60	7	107
演習	緩和ケア演習	1	16	—	—	1	16
臨地 実習	緩和ケア病棟実習（Aコース）	1	45	—	—	1	45
	緩和ケア実習 A	1	45	—	—	1	45
	計	2	90	—	—	2	90
合計		6	153	4	60	10	213

「B. 在宅緩和ケア推進看護師養成コース」

区分		必須		選択		合計	
		単位数	時間数	単位数	単位数	時間数	単位数
講義	看護倫理	1	16	—	—	1	16
	緩和ケア	1	16	—	—	1	16
	がん療法看護	1	15	—	—	1	15
	腫瘍病態生理学各論	—	—	2	30	2	30
	臨床薬理作用論	—	—	2	30	2	30
	計	3	47	4	60	7	107
演習	緩和ケア演習	1	16	—	—	1	16
臨地 実習	緩和ケア病棟実習（Bコース）	1	45	—	—	1	45
	緩和ケア実習 B	1	45	—	—	1	45
	計	2	90	—	—	2	90
合計		6	153	4	60	10	213

*日程は調整中のため、開講式の際にご案内いたします。

※職場に勤務しながら学ぶことができるプログラムです。講義の多くは、18時から開始となっています。

※受講期間中は、本学の研修員として附属図書館の利用が可能になります。

※プログラム終了までに、ELNEC-J コアカリキュラムの修了が必須となります。

※修了者には京都府立医科大学学長より修了証を交付します。

※A・Bコースは、文部科学省「職業実践力育成プログラム」（BP）の認定を受けています。

※ **Bコースは専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座です。**

この制度は働く人の主体的で、中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です（企業の費用負担がない場合）。

一定の条件を満たす雇用保険の被保険者が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定の割合額をハローワークから支給する制度です（専門実践教育訓練給付金についてのリーフレットより）。

制度等の詳細につきましては、ハローワークや厚生労働省のHPを必ずご確認ください。

受講開始前の1ヶ月前（2月末）までにハローワークへの提出書類があります（支給申請は別途手続きが必要）。

Aコースは2019年度の同制度は利用することができません。今後、同制度の適用に向け、申請予定です。

※事業主の皆様へ

人材開発支援助成金（旧称：キャリア形成促進助成金）の支給については、様々な受給要件がありますので、詳しくは厚生労働省のホームページ等をご確認ください。

II. 募集要項

1. 受講期間

2019年4月から2020年3月下旬（2019年3月下旬～4月に開講式を行います）。

2. 対象・受講要件・募集人数

「A. 緩和ケア実践看護師養成コース」

対象	受講要件	募集人数
病院勤務の看護師	① 看護師免許取得後、がん看護に関して実務経験3年以上の看護師 ② 所属の看護管理者から推薦を受け、受講の保障が得られる看護師 ③ 受講期間中、所属の組織の目標に沿った緩和ケアに関する課題を 実践できる看護師	5人

「B. 在宅緩和ケア推進看護師養成コース」

対象	受講要件	募集人数
訪問看護ステーション勤務の看護師	① 看護師免許取得後、がん看護に関して実務経験3年以上の看護師 ② 所属の看護管理者から推薦を受け、受講の保障が得られる看護師 ③ 受講期間中、所属の組織の目標に沿った緩和ケアに関する課題を 実践できる看護師	3人

注1) 実務経験は、看護師免許取得後の看護実務経験を開始した年月日を1ヶ月目とし、
2019年3月末の時点で、看護実務経験が受講要件を満たしていることを要件とします。

注2) 所属の看護管理者からの推薦書が必要です。

注3) 自己研鑽が目的ではなく、自施設ひいては地域へ貢献していただける方を募集します。

3. 出願手続

1) 出願期間

2018年11月15日（木）～11月30日（金）消印有効

2) 出願書類提出先

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465番地

京都府立医科大学 看護実践キャリア開発センター 宛

*簡易書留で上記宛に送付してください。消印確認できないものは無効とします。

3) 出願書類

(1) 受講願書（様式1） p.7

(2) 履歴書（様式2） p.8

(3) 勤務証明書・推薦書（様式3） p.9

(4) 小論文（志願理由）（様式4） p.10

(5) ELNEC-J コアカリキュラムの受講を修了されている方は、必ず修了証のコピーを提出してください。

(6) その他、資格取得・研修修了されているものがあれば履歴書への付記をお願いします。

4. 出願書類の取り寄せ

1) 郵送で請求される場合

募集要項及び出願書類を在中するための返信用封筒（角 2 版封筒に 140 円切手貼付、住所氏名明記）を、看護実践キャリア開発センター宛に郵送してください。

2) 京都府立医科大学看護実践キャリア開発センターのホームページからダウンロードされる場合

ホームページアドレス <http://www.kpu-m.ac.jp/j/cdcn/>

掲載期間 2018 年 9 月 18 日（火）～2018 年 11 月 30 日（金）

5. 出願に関する留意事項

1) 出願書類の記載で受講要件を満たしていない、あるいは記載不備が多い場合は、出願を不受理として出願書類一式を返送いたします。

2) 出願書類は必ず所定の様式を使用してください。

3) 出願書類一式のご返却は致しかねますのでご了承ください。

4) 「B. 在宅緩和ケア推進看護師養成コース」に出願される場合は、受講料納付方法（一括・分割）について選択してください。

Ⅲ. 受講可否の決定について

1) 書類審査により、受講の可否を決定いたします。

2) 必要時は、面談をさせていただく場合があります。

その際は、『受講願書』の電話もしくはメールアドレスに連絡させていただきます。

3) 受講可否の通知について

2019 年 1 月 25 日（金）

受講を申込まれた本人宛に郵送（簡易書留）で通知します。電話や FAX によるお問い合わせには対応できません。

IV. 受講手続き

1. 受講手続

1) 受講手続き期間

2019年1月28日(月)から2019年2月18日(月)まで(必着)

* 所定の期間内に手続きを完了しない場合には、本課程の受講を辞退したものと取り扱います。

2) 受講手続きに必要な書類

- (1) カラー写真1枚(正面上半身無帽、背景なし、出願6ヶ月以内に撮影したもの 縦3.0cm×横2.0cm)、最終学校の卒業証明書(「卒業証書の写しは不可」)、看護師免許証の写しを提出してください。これらは、本学の研修員として申請するために必要となります。

3) 受講手続き方法

- (1) 受講手続きに必要な書類等を一括し、郵送または直接持参により提出してください。
- (2) 郵送の場合は、郵送期間を十分考慮のうえ、簡易書留で発送してください。
- (3) 直接持参の受付時間は、土日及び祝日を除く日の午前9時から午後4時までを受付とします。

4) 受講手続き先

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路 上る 梶井町 465 番地
京都府立医科大学看護実践キャリア開発センター 宛

2. 受講料

- 1) 受講手続の際には、次の金額を納付する必要があります。受講の可否の通知を郵送の際、同封する納付書により、下記の金額を金融機関の窓口で納付してください。
- 2) 受講料は60,000円です。2019年3月20日(水)までに納付してください。一旦納付していただききました受講料の返金は、致しかねますのでご了承ください。

※A. 緩和ケア実践看護師養成コースを受講される方は、上記期日までに一括で納付してください。

※専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座であるBコースは、一括、分割での納付を選択いただけます。一括の場合は上記期日までに、分割の場合は前期分を上記期日までに納付してください。

3. その他

- 1) 受講期間中には、書籍や交通費(通学)等の経費が必要になります。
- 2) 損害・傷害保険等の加入を必須とする。ただし、当プログラム受講中も自組織の損害・傷害保険等が有効な場合は例外とする。

(様式1)

受講願 書

年 月 日

京都府立医科大学
看護実践キャリア開発センター長 殿

緩和ケアを推進する看護師養成プログラムの受講を願いたいので関係書類を添えて申し込みます。

ふりがな			
氏 名			
現住所		〒 ー	
		TEL : ()	
		携帯電話 : ()	
		Mailアドレス PC :	
		Mailアドレス 携帯 :	
施設名	ふりがな		
	名 称		
	所在地	〒 ー	
		TEL ()	
	職 種	職 位	
志願コース *志願するコースの欄に✓を付記してください。 *Bは受講料納付方法を選択してください。		<input type="checkbox"/> A. 緩和ケア実践看護師養成コース <input type="checkbox"/> B. 在宅緩和ケア推進看護師養成コース 受講料納付方法 (<input type="checkbox"/> 一括 , <input type="checkbox"/> 分割) <input type="checkbox"/> C. 緩和ケアチームリーダー看護師養成コース	

(様式 2)

写真貼付欄

縦 4cm×横 3cm
正面上半身無帽、背
景無し、応募前 6
ヶ月内に撮影した
もの。写真の裏に氏
名を記入して貼る
こと。

履 歴 書

年 月 日

ふりがな		男・女
氏名(自署)		印
生年月日	西暦 年 月 日生(満 歳)	

現住所	〒 ー	TEL/FAX
		TEL () FAX ()
所属施設名 病床数	病床数 ()	TEL/FAX
		TEL () FAX ()
所属施設住所	〒 ー	
免許取得年月日	(看護師) 西暦 年 月 日 号	
	() 西暦 年 月 日 号	
	() 西暦 年 月 日 号	
(西暦)	学歴(高等学校卒業から記入)及び職歴	
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
(西暦)	資格取得・修了研修 等	
年 月		
年 月		

(様式 3)

勤務証明書・推薦書

年 月 日

氏名：

上記の者は当施設において、以下のとおり勤務していることを証明します。

在職期間

西暦 年 月より 西暦 年 月まで、
通算 年 ヶ月間勤務している。

ただし、休職期間（産休・育休など）通算 年 ヶ月を含まない。

勤務形態は、[常勤 ・ 非常勤]である。

また、上記の者は、緩和ケアを推進する看護師養成プログラムを受講する要件を十分に満たしていると評価しますので、ここに推薦します。

【推薦理由】

施設名

職位

氏名

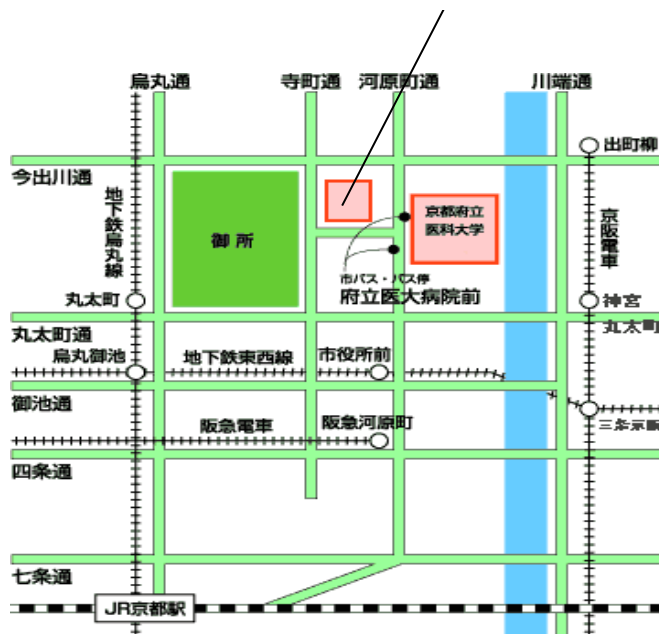
印

施設所在地 〒 —

電話番号

*看護部長等の職位の方がご記入ください。

看護実践キャリア開発センター



～資料請求先～

京都府立医科大学 看護実践キャリア開発センター

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路の梶井町 465 番地

TEL : 075-212-5422 FAX : 075-212-5423

e-mail : career@koto.kpu-m.ac.jp

HP : <http://www.kpu-m.ac.jp/j/cdcn/>



Career Development Center
for Nursing